	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 従業者向け 児童発達支援評価表 </div>
--	---

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	バリアフリー化はしていない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	第三者の外部評価を行っていない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	もっとしたい
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	

適切な支援の提供

14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	まだ標準化されているとはいえない、これから。
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	全員で行っている。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	人のスキルレベルによって変わる。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	当日ではないが、翌日に行っている。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	行きたい。
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	もっとしたい。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	
	(28～30は、センターのみ回答)			

関係機関や保護者との連携	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答)			センターからのスーパーバイズはない。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	7	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7	保護者会などは行っていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	4	会報などはない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	3	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	7	特別な対応が必要な児童がない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	ヒヤリハット自体が少ない。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	今は虐待などが無いが、もう少しやってもよいかも。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス はっち		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 10日		2025年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2025年 4月 10日		2025年 4月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご家庭と情報を共有しながらの丁寧な個別支援計画を策定している点については一定の評価をいただいた。個別のカリキュラムを用意しているため、個別最適化ができつつあると感じている。今後はアセスメントの標準化やその全体の共有をより行っていくことで、児童が安全にかつ有意義な時間を過ごせるように努める。	面談の時間をしっかりととる、ご家庭と送迎時や支援記録を通してコミュニケーションや報告を行うなど、当たり前と思われることをしっかりと取り組もうと努力ができた。支援記録は個々のカリキュラムが全員異なることから毎回何をしたかを丁寧に報告ができた。	アセスメントの標準化
2	個別支援計画に基づいて実際の支援を行うことができていた人が内外で多かった。計画に沿って実態と乖離せず行っていた点は評価できると考えている。今後はそれをきちんと定量的に判断ができるような仕組みを整えていけるとよいと考えている。その場合、よい意味で支援に柔軟性が出てくると思われる。	支援の記録をとるとともに、その日におこなった課題に関しての評価を毎回職員間で記録で共有できたこともよかったと思われる。	支援の結果をできる限り定量的に把握をすること。 モニタリングの精度の向上
3	職員の専門性、支援の満足度は高い評価を内外からいただいた。まだ至らない点が多いものの、上記①・②もあわせて、支援が少しずつできるようになってきていると感じる。今後も社内の研修の強化をするなど、専門性を高めた支援を実施していきたい。	研修を複数回教室で行い、外部研修に職員を出すこともできた。今後はこうした形で教室にない知見をうまく取り組めるようにしていきたい。	外部研修の参加 内部研修の回数の増加

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練など実地ですべて行っているが、マニュアルの作成周知がまだ及んでいない。非常時における行動は全員が一律した対応をとる必要があるため、今あるマニュアルをブラッシュアップして、内外に周知を努めたい。	実際起こりうるケースの想定がまだ甘いように思われる。内部の知見のみだと限界があるため、より詳細・具体的な内容を外部の知見をいただきながら作成したい。	外部研修の利用 HPへのマニュアル等のアップ マニュアルに沿った訓練を年に1回以上行う。
2	地域との連携がまだ行えていないと感じたい。お声がけをいただく会議にはすべて参加ができているが、積極的に連携ができているとはまだ言えない状況。	うまく周囲の輪を広げる行動ができなかった。今年は連絡会への参加も行ったので、ここで適切に場を利用しながら連絡、連携をとっていきたい。	必要と思った時に周囲の助力を上げる仕組みは作りたい。今年度は相模原の連絡協議会にも参加をしたため、その場をうまく利用しながら、周囲の事業所で支えあう支援体制の構築を目指したい
3	社員間の情報共有などでエラーがあり、弊所では非常勤がほぼおらず、ほとんどが常勤職員のため情報の格差もあり、引継ぎがうまく機能しなかった場面もあった。	課題の結果、支援記録など参照できるデータはあったので、そこでよいと思われていたが、行間などの共有は難しかったこと、教室全体に関わることは引継ぎが漏れることがあった。	振り返りのMTでは日報の活用が提言されていたため、始礼のタイミングで前日の振り返りを行った際に、記録を行っていく方向で調整したい。今後はその方法をブラッシュアップしていく。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス はっち				公表日	2025年 5月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2				
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	2				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2				

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		
	28	(28～30は、センターのみ回答)			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答)				
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		2		

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		2		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。		2		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		2		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		2		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		2		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。		2		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		2		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		2		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		2		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		2		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		2		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		2		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		2		
非常時等の対	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		2		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		2		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		2		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		2		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		2		

応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2			